

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながる常時途中・他者参照

一人1シート



子ども一人一人が考えを表現する



自分の考え

自動車生産工場は危ないものを使う⇒診療所があると思います。
 お腹が空く⇒食堂、売店があると思います。
 作るためにたくさんのくふうや努力がされている工場だと思いましたが、なぜ野球場やグラウンドがあるのかが疑問に思いました。

出席番号ごとに
一人1シート

全員に
表現の場を確保

一人一人に領域を与えることで、子どもみんなが安心して表現できる場を確保できた。紙を印刷せずとも、短時間で作成・提供ができるので、教員の負担が軽減された。

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながる常時途中・他者参照

参照し合える環境

子ども一人一人が考えを生み出せる

クラウド上

直接の対話



これまでの一斉授業のスタイルであると、やり方も進め方も分からずに何もできなかった児童が、常時参照し合える環境があることで、他の児童の考えを参考に学習を始める姿が見られた。また自分でどんどん進められる児童にとっても、他者の意見を参考にすることでさらに考えを深めることにつながった。教員としては瞬時に児童の作業状況を把握できることが利点である。

【取組内容④】 校務のGIGA化によるGoogle機能の普段使いの推進

- 朝の打ち合わせはストリーム→チャットへ
 - ・打ち合わせの回数が減少
- 情報共有をチャット
 - ・各学年、各グループでスペースを作成
- 提案をドキュメント
 - ・活動計画、職員会議、各記録、指導案検討など
- 編集をスプレッドシートで行う
 - ・月行事反省、各学年の意見集約など

Google機能の普段使い

職員会議

会議内容	最終編集
1月_第8回職員会議議程	最終編集: 1月10日
11月_第7回職員会議議程	最終編集: 2022/11/29
1月_第9回職員会議	最終編集: 1月27日
職員会議記録	最終編集: 2022/10/01
10月_第6回職員会議議程	最終編集: 2022/10/25
2月_第10回職員会議	投稿日: 2022/10/07

教育活動計画

会議内容	投稿日
教育活動計画	投稿日: 1月28日

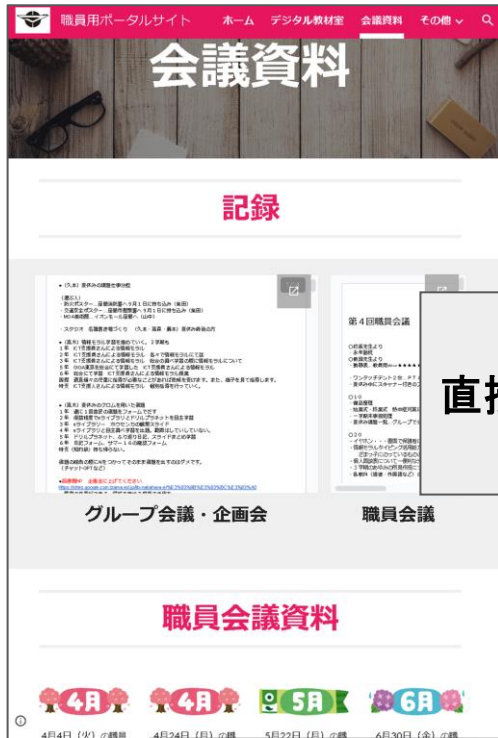


教員自身が便利さを実感

まずは、教員自身の普段使いを最優先とするため、これまでパソコンに保存されていた書類関係を少しずつGoogle機能主体（ドキュメントやスプレッドシート等）へとシフトチェンジしていった。教員自身が校務で使う必然性のある状況をつくり出すことで、自然と便利さを実感していく機会を得ることができた。

【取組内容④】 校務のGIGA化によるGoogle機能の普段使いの推進

職員用ポータルサイトによる普段使いの推進



直接アクセス



教員の使いやすさをサポートするために、校内職員用ポータルサイトを作成した。端末を使うことに苦手意識のある職員でも閲覧したい資料にアクセスしやすいようにして、端末使用に対する抵抗感を軽減させたことが校内での普段使いを加速させた。クラウド上で会議資料の閲覧、特別教室の予約等も行えるので、より便利さを実感しつつ、校務のGIGA化を進めていくことができた。

【取組内容④】 クラウドをフル活用した非同期からスタートする指導案検討会議

The screenshot shows a Kami document with a lesson plan on the left and a chat window on the right. The lesson plan includes sections for '目的' (Objectives), '展開' (Development), and '学習活動' (Learning Activities). The chat window shows several comments from participants like 'ヤマグチマミ' and 'タケウチマコト'.

事前にコメント

会議時間短縮

2	あ	生き物（魚、恐竜、虫）など興味のあることの語彙は豊富である。	・活動に参加する。
3	が	・集団に入ったり、話したりすることには抵抗がある。	・小集団の中で友だちを意識しながら、言葉を聞いたり、伝えたりしながら楽しむ。
3	が	・日常生活は問題ない。	・最後まで活動に参加する。
3	が	・集団を前にして話すことに抵抗がある。	・ゲームを楽しみながら語彙を増やす。
E	3	・大人とおしゃべりをするのが好き。	・小集団の中で友だちを意識しながら、言葉を聞いたり、伝えたりしながら楽しむ。
3	た	・会話は問題ない。音読や紙書を尋ねることが苦手で、できないとパニックを起こしてしまう。	・相手を意識したクイズの出し方を工夫する。

まずはドキュメントを全員に白紙共有。該当学年で少しずつ作成していく。他学年は各自見た時点でコメントしていく。コメントの中で随時追加・修正を進める。従来は、出来上がった指導案を検討会議の際に見るため、非常に時間がかかった。このスタイルだと、事前に全員が目を通していているので、簡単な確認程度で済むため、会議時間も短縮につながった。